

令和3年度 第1回・研究授業 6年1組 社会

日 時:令和3年5月19日(水) 13:45-14:30

場 所:本校体育館

指導者:6年1組・担任 N. N.主任教諭

単元名:日本の歴史 ～ 国づくりへの歩み

講 師:前文部科学省視学官、国土舘大学教授 澤井陽介先生

【シンキング・サイクル:課題設定】 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認
二つの時代の生活の仕方を具体的に調べる。

【社会科の見方・考え方】 「衣・食・住」の観点から比べる

前回は、2枚の絵を見て縄文時代と弥生時代の違いについて考えました。今日は、縄文時代と弥生時代、どちらの時代で生活したいか考えてみましょう。



ロイロノートに資料はたくさん用意してあります。
二つの時代を比べて、どちらで住みたいか考えるとしたら、何が皆さんにとって重要ですか？



シンキング・サイクル:【情報収集】



○資料を見て、必要な情報を収集する。

○「衣・食・住」の観点から、二つの時代の生活の仕方について調べる。

【シンキング・サイクル:整理・分析】

○調べた内容を見てわかりやすいように記録する。(ノートの工夫 「表」にまとめる)

では、どちらの時代で生活したいか考えましょう。ロイロノートで、縄文時代は黄色、弥生時代は水色の付箋を使って、まとめましょう。選んだ理由も分かるように書いてください。

ロイロノートの付箋を使ってまとめたものを全員で共有できるようにする。

付箋の色が異なるため、スクリーンに映し出されたものを見て、一目でどちらが多いか判断できる。



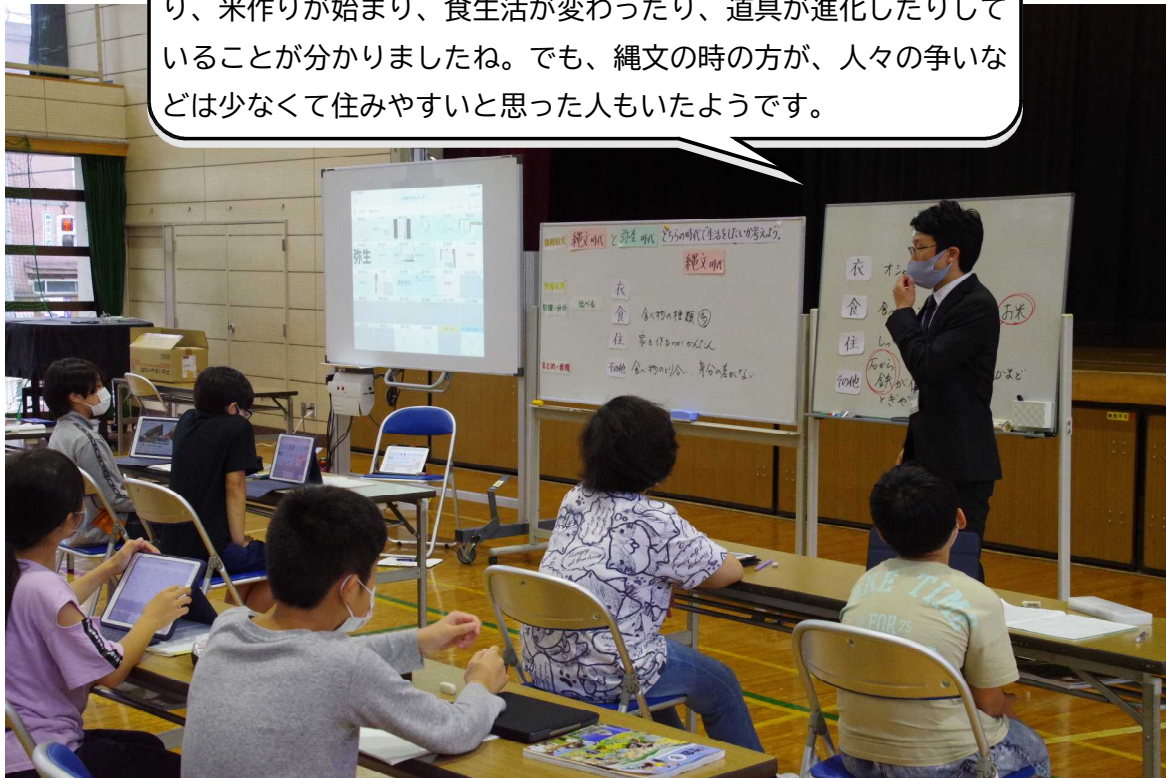
【シンキング・サイクル:まとめ・表現】

それぞれの時代の、特徴的な生活の仕方をまとめながら、自分ならどちらの時代で生活してみたいかを発表する。





みんなの意見から、縄文と比べて弥生の方が、住居がよくなったり、米作りが始まり、食生活が変わったり、道具が進化したりしていることが分かりましたね。でも、縄文の時の方が、人々の争いなどは少なくて住みやすいと思った人もいたようです。



【研究協議】

- 資料が多く、時間が足りなくなりました。
- めあて(学習問題)がよくなかったのでは？
- 単元の学習問題がはっきりしなかった。
- 「調べる」(情報収集) 焦点化した方がよかったのでは？



13:45~ (目標) 縄文と弥生の生活について考えたことを表現する。 2021.5.19 墨田区立若葉高 中野(体育館)

T. 弥生時代の生活の特徴を挙げる。縄文と比べる。今の生活と比べる。もっと詳しく。1つは感受性があった。(当時の文化)

縄文時代と弥生時代。どちらの時代で生活したいか答える。 **さすがに唐突感!!** もう少し流水に乗せないとやがて水感 (考えたいと思っていない状態)

① 選ぶ時に何が大事? ② 食料、家、火、木水 → **倉庫衣** ③ 弥生圧勝では? **「この時代で生活したい」と提出を。**

T. ロイノートに資料を渡ったのでノート。ノットにまとめる → 縄文にマーク、弥生は水色のマークに貼って。この時代で生活したい。と提出を。

(タブレットで調べる子供たち) ④ 調べたことは、ノットに比べるから書いていく方がいい? **社会科の問題解決①** 確めたい情報 → 思考 → 判断 (考えたいと思っていない状態) 必要のものを整理してまとめる

⑤ パースを上げよう! **社会科の問題解決②** 子集に以て調べる事項を焦点化するよい

⑥ 食料を比べる子、住居を調べる子、衣服を調べる子、農具や倉庫について調べる子、食料の比較を書く子、食料の切り方を調べる子、道具を比べる子、縄文時代の木倉庫を書く子

⑦ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑧ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑨ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑩ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑪ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑫ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑬ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑭ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑮ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑯ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑰ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑱ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑲ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

⑳ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

㉑ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

㉒ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

㉓ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

㉔ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

㉕ 調べたこと、ノットに比べる子、調べる子、まとめる子、発表する子

14:20~ (ロイノートで提出が始まる) 二項対立の場合、ロイノートの活用は興味深い。社会科は議論が大切 → 「AかBか」「その理由の一番は」など 情報を絞って一覧にするとよい

T. 発表してください。

① 弥生: 食料の割合が近く、身の差が大きいから。少し豪華な物が食べれる。服がよれやれ。食料多い。水が使われ便利にノットに家がしかりしている。道具がそろそろ入(前庭や狩場)ヤマトがよれ米もある。

縄文: 家を作るのが簡単、食料の種類が豊富

T. 圧力的に弥生はね、食料をいとお米が 道具では金属が下ぎは 古代の? 道具が進化しているのは弥生だろう。倉庫も出てきている。どうやらくらしがかわってきているみたい。でも争いもあるみたい? これらのことを子供がまとめるようにしたい!! 身の差も?

(澤井先生の授業記録)



- 「調べる」必然性を引き出したかった。
- もやもや感を出して「調べたい!」という意欲を引き出す。「問いをもって事象に迫っていく」
- 学習問題に対して、「予想」をもたせないと、ただの資料の丸読みで、「情報収集」にならない。予想を立てさせて、焦点化させる事が必要。
- 一次情報だけでは比べられない。二次情報が大切。ここが「整理・分析」の部分。
- 社会科は、「考えて判断する」教科。「読み取って

判断する」のは国語。

- 社会科は議論が重要。ロイノートの効果的な活用を。
- 同じ教材(題材)を扱っても、その教科特有の「見方・考え方」によって、それぞれの教科の学習になる。
- そのために「資料の工夫」、そして「問いの工夫」が重要。

